

本市において、新型コロナウイルス感染者数は、いったん減少しかけたものの、再び拡大へと転じつつある状況であり、4月27日現在の直近1週間の対人口10万人の患者数は201.0人となっております。

特にも、市内でクラスターが多く発生している学校、幼稚園、保育所等では、「換気が不十分な更衣室でマスクなしに近距離で会話をした場面」や「食事の際にパーティションはあったが、自由に座り、密になってしまう場面」などで感染が拡大した疑いがあることから、同様の場面では、親しい仲であることに安心せず、感染の再拡大を繰り返さないためにも、感染リスクを下げるよう十分な対策をお願いします。

明日からゴールデンウィークを迎えるわけですが、帰省や旅行、観光など都道府県をまたぐ移動が多くなり、人の動きも活発化します。感染力が強いオミクロン株においても基本的な感染防止策は有効であることから、市民の皆様には、改めて、不織布マスクの正しい着用、手指消毒、換気などの感染防止対策の徹底を継続していただき、密集、密閉、密接のうち一つの密であってもできるだけ避けるよう、お願いいたします。

岩手県独自の「緊急事態宣言」は、現在も継続されております。オミクロン株は重症化リスクが低いものの感染力が強いため、決して油断することなく、本人のみならず、周りの方、特にも重症化しやすい高齢者等への感染や、感染急拡大による医療ひっ迫を招かないよう一人一人の感染防止を念頭にした行動が求められております。

発熱やのどの痛みなど、少しでも体調が悪い場合は、外出を自粛し、

かかりつけ医や受診・相談センターに電話相談の上、必ず早期に医療機関を受診していただくことが「うつさない」ことにつながります。

なお、熱や咳などの症状がない方で、感染の不安を感じる盛岡市民をはじめ、岩手県民の皆様が、無料でPCR検査を受けることができる期間が5月31日まで、延長されましたので、是非、活用していただきますようお願いいたします。

改めて、感染予防の取組の徹底を心がけていただき、楽しいゴールデンウィークをお過ごしいただきたいと思っております。

令和4年4月28日

盛岡市新型コロナウイルス感染症対策本部

本部長（盛岡市長） 谷 藤 裕 明